

【出題内容】

出題分野	レベル	出題形式・内容	対策
語彙力	やや難	<input type="checkbox"/> 空所補充問題 2012～2014 年度は、派生語の知識を求められる問題が 7 題。マーク方式だが正確な知識がないと解けない。2015,2016 年度は出題がなかった。 慶應大は商・医・理では直接語彙力を試す問題が多いので、過去問については商・医・理の語彙問題を解いておくとよい。ただし難易度は法が最も高い。	<input type="checkbox"/> 速読英単語必修編・上級編:派生語・関連語を含めた学習 市販の単語集(ターゲット・速単必修・DB4500 等)の見出し語レベルでは対応できないので、日頃から派生語を含めた英単語の学習をしておくことが重要。たとえ知識が無くても、語形変化の学習をしていれば類推できる場合もある。また、知識がなければ時間をかけても解けないので、時間をかけ過ぎないことも重要。
	標準	<input type="checkbox"/> アクセント問題 2008～2011 年度まで 5～6題出題されていた。	<input type="checkbox"/> Vintage Field 6 ここ 3 年は姿を消しているが出ないと決め付けるのは危険。Vintage の Field 6 レベルは完璧にマスターしておこう。法学部の過去問だけでなく理工学部では近年でも出題されているので見ておこう。
	標準～超難	<input type="checkbox"/> 会話文空所補充型 2008～2015 年度まで毎年 15 問出題されている。動詞を中心とした熟語的な表現が中心だが、内容理解力・語彙力を試す問題も出題される。 2016 年度は大幅に易化し、Logical Reading 系(英文の空所補充)の会話問題に変化した。これは取らなければならない問題。	<input type="checkbox"/> 奇跡の英熟語(祥伝社) <input type="checkbox"/> Compass ③ 年度によるが、Vintage や駿台英頻 Part2 レベルでは歯が立たないものも出題される。難しい年度のは模試学力で偏差値 80 を超えていても半分も取れないだろう。知識がなければ語感で対応せざるを得ないが、考えても出来る問題ではないので難しいと判断したら時間をかけ過ぎないことが戦術的に重要。 市販されているものになかなか良書がないので万全の対策をたてることは難しいが、口語表現などにも日頃から興味を持って学習しておくことが大切(Podcast 等の口語英語の番組を視聴するなど)。

	標準	<input type="checkbox"/> 下線部語義選択問題 長文問題の形式であるが、本文中の下線部語彙の英語の定義を選ぶ問題。 2012年度から毎年独立問題として10題出題されている。	<input type="checkbox"/> Longman 英々辞典 <input type="checkbox"/> Oxford 英々辞典 一見難しそうだが、確実に満点取りたいレベルなので、慌てずに解くことが重要。1つ間違えると自動的に2つ間違えることになるので注意。 選択肢や下線部の品詞分類をしてから問題を解くと能率的。
インタビュー 応答問題	やや 難	<input type="checkbox"/> Question と Answer 選択一致 2012～2013年度は出題されなかったが2008～2014年度まで10題出題されている。2015,2016年度も出題なし。出されるとやっかいなので、対策は必要。	<input type="checkbox"/> 「東洋経済」「ダイヤモンドオンライン」などの雑誌 英語力も勿論必要であるが、法曹界や経済界を取り巻く背景知識がないと全く読めないレベルのものもある。1つ間違えると自動的に2つ以上間違えることになるので注意。自信があるものから解答し、考えて分からないのであれば、あまり時間をかけず、下線部語義問題や長文読解問題に時間をかけるのが戦術的に得策であろう。
長文 読解 総合	標準 ～ やや難	<input type="checkbox"/> 空所補充問題 <input type="checkbox"/> 内容把握確認問題 <input type="checkbox"/> 文整序問題 など	<input type="checkbox"/> New Treasure 5 <input type="checkbox"/> ビジュアル英文解釈解釈(駿台文庫) 慶應大学の長文問題全体に言えることだが、長文問題における空所補充問題の占める割合が高い。読解力はもちろん、語彙力がないと対応出来ないのも、速読英単語・上級編などの長文もきちんと学習しておくとい。背景知識が極端に不足していなければ、一部の難問を除いて、見かけほど難しい問題ではないので、時間をしっかりかけて解くことが必要。年度によっては十分満点を狙えるレベルもある。

慶應大学法学部英語攻略の基本戦術

慶應大学法学部英語攻略の基本戦術は以下の通り。

① 誤文訂正問題

出来るだけ時間をかけず、基本的な文法エラーを探す。考えても分からなければ、時間をかけ過ぎず捨てる勇気が必要。

ここで時間をかけてしまう受験生は他の問題の解答時間を取れず大きな失点をすることになる。過去の合格者の体験談からもこの分野の問題の正答率が悪くても十分合格出来ることが分かっている。くれぐれも時間をロスしないこと！

② 語彙問題・イデオム問題

2015, 2016 年は出題されなかったが、派生語を含めた語彙の学習を怠ってはならない。難しい問題もあるが、**基本的な問**

題を落とさないこと。 1～2 問間違えても時間をかけ過ぎないことの方が大切（時間をかけて考えても正解は出来ない）。

イデオム問題は現在の受験英語で最高のレベル。2016 年は出題がなかったが、出題されれば市販の熟語集などではとても太刀打ちできない。Compass ③の C レベルまでの学習が必要だが、この分野の学習に時間を割ける現役生などごく僅かのはず。

「ネイティブスピーカーの単語力」などの本で感覚を磨く程度の学習に留め、社会の学習に時間を割く方が賢明。

③ インタビュー応答問題

Question と Answer の要旨をメモでまとめておき、能率よく簡単な問題から解く！迷っても時間をかけ過ぎないことが重要。特に 2014 年度の問題は鬼。難しいと判断したら、あまり時間をかけ過ぎないようにすることも必要。2015 年、2016 年と出題はなかったが、過去問は解いて備えておきたい。

④ 長文形式：語義選択問題

合否の鍵を握る問題。 見かけほど難しくないので満点を狙う。ただし、慌てて間違いを選ぶと 2 問間違えるので確実なものから解答する。選択肢の語義から品詞で分類しておくとも能率が UP する。

⑤ 長文読解総合問題

合否の鍵を握る問題。 空所補充問題が多いが、選択肢の語彙は平易なものがほとんど。時間をじっくりかけられれば、正答率は上がるはずなので、この大問を短時間で解かなければならなくなるような戦術はまずい。長文の背景知識があれば、筆者についていけるが、背景知識が極端に不足していると内容理解が厳しくなるので、法律や経済を中心とした時事問題をしっかりと学んでおくことが重要。

★ 総評

問題レベルは高いが、近年の法学部人気の下落で合格最低点は高くない（2014年度は5割を切っても合格）ので、昔の慶應大法学部ほど難しい訳ではない。ただ、小論文のレベルも英語の問題レベルも慶應大の中では最高難度なので、日頃から基本的な問題ばかりに慣れている学生が何の戦術もなく戦えばパニックになってしまうだろう。10年程度の過去問は全て解き、同傾向同形式の他学部の問題にも取り組んで慶應の英語のレベルに慣れておくことがまず必要。

難易度は高いものの、小論文の平均が50%弱なので、2014年でも英社で55%程度得点すれば合格出来る（難しい時代ならこのレベルでも60%以上は確実に求められたでしょう）。自由英作文や和訳などの記述問題がないことを考えると、合格ラインは決して高いわけではないので、出来ない問題があってもパニックにならずに、**確実に得点出来る問題を確実に取れるように落ち着いて解答していくのが肝心**。ただし、背景知識を含め、求められている教養レベルは高いので、日頃から経済や法律を中心に時事問題に興味を持って読書しておくことをお勧めする（小論文対策にもある）。